



プトラ・マレーシア大学

Universiti Putra Malaysia



●学生 約21,000人 ●教員 約1,800人
ホームページ <http://upm.edu.my/>

交流協定締結年月日：2019年11月18日 主管学部：医学部



国際交流の特色

プトラ・マレーシア大学(UPM)は、1931年に設立された農業学校を起源としています。1947年にマラヤ農業大学が設立され、1973年に農学部、林学部、獣医学部を擁するUPM (Universiti Pertanian Malaysia)に発展しました。その後1980年代に幅広い科学技術分野に拡張され、1997年にUPM (Universiti Putra Malaysia)に改称されました。現在はマレーシアの科学技術の中心をなす大学のひとつとして中心的な役割を担っています。首都クアラルンプール南部郊外、マレーシアの政府機関が立地するプトラジャヤに隣接したSelangor州Serdangに、アジアでも有数広大な敷地を有しています。農学部、林学部、獣医学部、経済経営学部、工学部、教育学部、理学部、食品科学部、人間生態学部、現代言語コミュニケーション学部、デザイン学部、医学健康科学部、コンピュータ科学情報学部、バイオテクノロジー・バイオ分子科学部、環境学部、農業食品科学部を擁し、広範な科学技術分野をカバーする総合大学ですが、ハラル製品研究所、熱帯雨林・林産研究所といった特色のある研究所を運営しています。2019年度のTHEランキングは801-1000、アジアランキング188、QSランキング202であり、特に国際性が高く評価されています。

交流実績（平成31年度～令和2年度）

年度	年度	
	H31	R2
受入・派遣		
学生の受入	2	1
学生の派遣	0	0
研究者・職員の受入	0	0
研究者・職員の派遣	0	0
オンライン交流参加者（本学）		0
オンライン交流参加者（相手機関）		0



2016年10月、Soh Kim Lam 看護部門長、Salimah Japar 講師が、本学、前インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

教員からの声

UPMはマレーシア国内でも高く評価されている大学であり、本学のマレーシアにおける拠点大学として重要なパートナーです。医学・健康科学に加えて農学分野に強みを有しており、イスラム諸国の雄であるマレーシアならではのハラル製品研究所を擁していることや、学部・研究科で講義・実習の多くが英語で実施されていることが特筆されます。本学学生の派遣や、UPMからの若手研究者や学生の受入れ等、相互交流の推進に強い期待が示されています。

2016年10月にUPMのSoh Kim Lam 看護部門長らの本学訪問を契機として交流が始まり、2017年度～2019年度さくらサイエンスプランにて若手研修者計6名を招聘し生活習慣病関連分野の研修を実施する一方、医学部（現インターナショナルオフィス）徳田教授らがUPMを訪問して協議し、2019年11月18日に交流協定の締結に至りました。なお、2019年度から大学院生1名が医学系研究科に入学しています。

令和2年に勃発したコロナ禍の影響によって人的な相互交流はほぼ停止した状態にありますが、コロナ禍収束後の交流再開について協議を行っています。